

全国の街と若者応援！プロジェクト

100年後に伝えたい「私の地元遺産」コンテスト in 三重

結果発表

【大賞】

作品タイトル：「久しぶり！」

駒田 大貴 （鈴鹿市 大学1年）



（応募コメント）

毎年、冬の時期になると、鈴鹿市水道局の前にある御座が池にやってくる、何千羽もの渡り鳥たち。自分が物心がついた時から毎年やってくる。自分にとってすごく懐かしいような感じを与えてくれる渡り鳥たち。

そして、この場所を忘れずに毎年来てくれる。なんともないただの池が冬の時期だけ、自分にとって特別な場所になります。これから先、大人になっても、この渡り鳥に会いに必ずきたいとおもいます。

すべての受賞作品は、公式Instagramで閲覧できます

[instagram.com/jimotoisan/](https://www.instagram.com/jimotoisan/)

全国の街と若者応援！プロジェクト

100年後に伝えたい「私の地元遺産」コンテスト in 三重

【優秀賞】

作品タイトル：「通学の風景」

川村 誠 （菰野町 高校3年）

鈴鹿山脈が見える通学路の道を、よく帰り道に写真で撮ります。その日は天気が良く、川がとても美しかったので、橋から降りて撮影しました。ずっと残ってほしい景色です。

【優秀賞】

作品タイトル：「おぶかご」

佐竹 夢 （津市 小学6年）

おぶかごは、私のばあちゃんが住んでいる、尾鷲市古江町で荷物を運ぶために使われています。古江町は階段が多く、車で家まで行けないので、おぶかごが大活躍しています。

竹で作られていてあたたかみを感じます。荷物の他に、孫が入っていることもあり、私も入っておんぶしてもらったことがあります。住んでいるのはほとんどお年寄りですが、おぶかごも古江町も、ずっと残ってほしいと思っています。

【優秀賞】

作品タイトル：「三重の磯場」

古野 天琉 （津市 小学4年）

鈴鹿山脈が見える通学路の道を、よく帰り道に写真で撮ります。その日は天気が良く、川がとても美しかったので、橋から降りて撮影しました。ずっと残ってほしい景色です。

すべての受賞作品は、公式Instagramで閲覧できます

[instagram.com/jimotoisan/](https://www.instagram.com/jimotoisan/)

全国の街と若者応援！プロジェクト

100年後に伝えたい「私の地元遺産」コンテスト in 三重

【MieMu特別賞】【佳作】

作品タイトル：「清水（1）」「清水（2）」「神様の風吹く坂」 （佳作）「思い出の味」

橋本 葉月 （東京都 大学4年）

＜清水＞おはらい町、おかげ横丁のわきを流れる五十鈴川の清らかなこと。夏になるとタオルを持って出かけ、制服のスカートを捲り上げて水遊びをしていました。小魚から巨大な鯉まで、いつも悠々と泳いでいます。この水がいつまでもいつまでも澄み渡る清水でありますように願わずにはられません。

＜神様の風吹く坂＞学校へ行く道にこの坂があります。自転車で一気に下る坂の横には大鳥居。毎日神様の風を肌感じていた学生生活でした。

＜思い出の味＞学校帰り、部活帰りにぎゅーとらに立ち寄って、かつ丼を買う。それが私と友人達のお決まりでした。友人たちと立ち寄ったあのぎゅーとら、出来立てを出してくれるおばちゃんたち、そして、柔らかいカツ、汁のしみこんだごはん、すべてが「思い出の味」です。

【佳作】

作品タイトル：「大地の記録」

石川 浩平 （津市 高校3年）

私は、百年後にゾウの足跡化石を残したいと思う。化石は、誰かに採集されなければずっと地中に埋まったまま、いつかは風化していくものだからだ。ゾウの足跡化石は、その中でもすぐに状態が悪くなる。だから、誰かが採集・保存しなければならないと思う。また、ゾウの足跡化石が、昔、日本にゾウがいた証拠になり、大勢の人が足跡化石を見ることでそれを知ることができると思うからだ。

【佳作】

作品タイトル：「はばたけ！桑名の千羽鶴」

伊藤 胡春 （桑名市 小学3年）

桑名の千羽鶴は、一枚の和紙に切り込みを入れて折った連鶴です。羽や口ばしなどの一部がいろいろなつながり方をしていて、桑名の千羽鶴のためのじょうぶな和紙もあります。200年以上前に桑名のお坊さんが考えたもので、去年もとになった本も発見されました。博物館や六華苑では、49種類すべてが展示されていて、簡単なものはいつでも体験できます。子どもから大人まで、だれでも体験できる自慢の文化財です。

すべての受賞作品は、公式Instagramで閲覧できます

[instagram.com/jimotoisan/](https://www.instagram.com/jimotoisan/)

全国の街と若者応援！プロジェクト

100年後に伝えたい「私の地元遺産」コンテスト in 三重

【佳作】

作品タイトル：「日本書紀にあえる三重」 西川 充希 (津市 中学1年)

伊勢市の神宮にはアマテラスオオミカミがまつられ、熊野市の花の窟神社にはイザナミノミコト、カグツチノミコトがまつられています。亀山市にはヤマトタケルノミコトのお墓があります。三重県には日本書紀に出てくる神様にゆかりのある場所がたくさんあります。日本の始まりを身近に感じられる場所がたくさんあるということで、すごいことだと思います。そんな場所を全部、三重県の地元遺産として100年後に残したいと思います。

【佳作】

作品タイトル：「みえけんばん あまのはしだて!! (みなみいせちようおおかうらのニワはまのふうけい)」 森 あす実 (津市 小学3年)

おじいちゃんのうちに行くとなつはまにあそびに行きます。おかあさんが「このはまはとおくから見るとすごいんだよ」となんかいてんぼうだいに連れて行ってくれました。そこからみたニワはまは、うみとうみにはさまれたほそながいかたちをしていました。おかあさんが、きょうとにあるあまのはしだてというところにているときいて、パソコンでしたべたら、ほんとうにていました。もっとたくさんのひとにしてほしいです。

【佳作】

作品タイトル：「かざり きゅうす」 悟空 (四日市市 小学4年)

社会の授業で四日市市の「万古焼 急須」を勉強しました。今は、ペットボトルのお茶ばかりだけど、いつも飲んでるお茶を、一手間かけて急須で飲むと「おいしい」と思いました。急須のチカラをもっとみんなに知ってもらいたくて「かざり きゅうす」が、あたらしい名物になってほしいと思います。

【佳作】

作品タイトル：「シロチドリ」 悟天 (四日市市 小学3年)

「先生あの鳥なんて鳥？」「シロチドリよ。たしか、県鳥ですね」「県鳥？」「三重県のシンボル鳥ですね」ぼくの、学校に遊びに来た鳥は、有名鳥でした。大きくなったら、ぼくの子供たちにおしえてあげよ!!

すべての受賞作品は、公式Instagramで閲覧できます

[instagram.com/jimotoisan/](https://www.instagram.com/jimotoisan/)

全国の街と若者応援！プロジェクト

100年後に伝えたい「私の地元遺産」コンテスト in 三重

【佳作】

作品タイトル：「みえジビエ」

山本 夏音 （津市 中学2年）

夏休みの自由研究で〈みえジビエ〉をテーマにして調べました。そのなかで多気郡大台町の道の駅奥伊勢おおだいで屋台で販売している〈おいしかバーガー〉を全国に広げたいと思いました。鹿肉をつかったご当地バーガーです。臭みやかたさなくて美味しいのです。

【佳作】

作品タイトル：「提灯祭り(桑名市多度町)」

匿名希望 （桑名市 高校3年）

毎年提灯祭りの灯りを見ると夏だな！と思います。多度大社境内と本殿では提灯の色が違うので、本殿の提灯(写真)を見ると、特にそう感じます。

**たくさんのご応募ありがとうございました。
受賞者のみなさん、おめでとうございます！！**



すべての受賞作品は、公式Instagramで閲覧できます

[instagram.com/jimotoisan/](https://www.instagram.com/jimotoisan/)